

報道関係各位

2016年4月25日

DK SELECT

人と人、世代と世代を縁でつなぐ
多世代コミュニティ 賃貸住宅『en terrace(エンテラス)』
試行運用に向け、モニター募集を開始

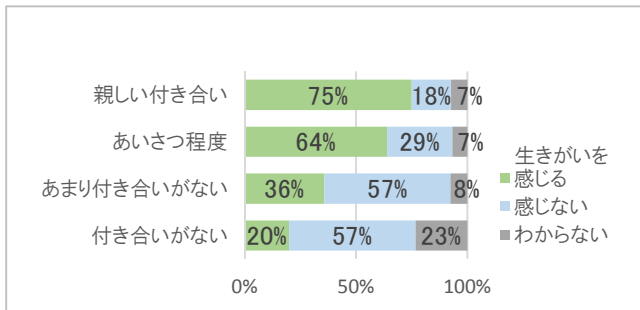
大東建託株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：熊切直美）は、入居者の多様化するニーズに対応していくための新たな取り組みの一つとして、異なる世代の入居者様同士のコミュニティを促すきっかけ作りをする、多世代コミュニティ賃貸住宅「en terrace(エンテラス)」を開発し、2016年2月より先着で3事業地限定、特別価格によるモニター募集を開始しましたのでお知らせします。尚、試行運用は、2017年12月より予定しています。

■ **お互いのニーズを叶える賃貸住宅**

大東建託では、これまでも一人暮らし世帯や子育て世帯向けの間取りの住戸や、ライフステージの変化に合わせて間取りを自由に変えられる可変式住戸など、入居者様のライフスタイルに合わせた賃貸住宅を提案してまいりました。少子高齢化などの社会的背景を踏まえ、当社は、周囲との適度な交流を求めるシニア世代と、地域や周りの人による見守りや相談などの支援を望む子育て世代がお互いを支えあう、コミュニティを大切にしたい賃貸住宅を提案します。

● **シニア世代の傾向**

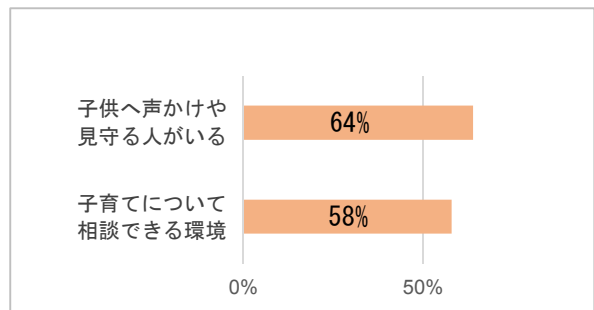
【近所付き合いの程度と生きがい】



内閣府：高齢者の日常生活に関する意識調査(2014年)よりデータを抜粋

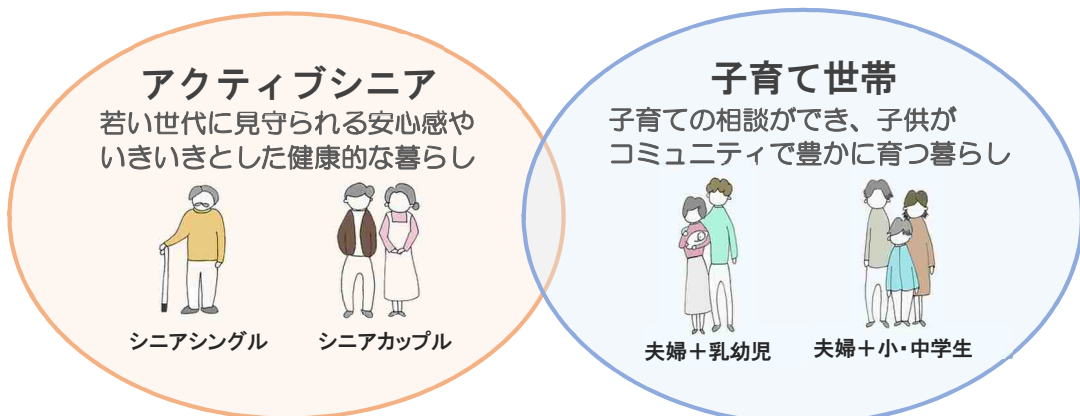
● **子育て世帯の傾向**

【子育てのために必要だと思うこと】



内閣府：家族と地域における子育てに関する意識調査(2014年)よりデータを抜粋

● **世代で支えあう暮らしのイメージ**



(次のページへ続く)

■コミュニティの場となる「テラス」スペース

多世代コミュニティ賃貸住宅「エンテラス」では、入居者様同士が気軽にコミュニケーションを取れる場として「テラス」に着目し、そこにつながるを生むきっかけを作り出すための様々な工夫を取り入れていきます。また、世代ごとに適した住戸プランをご用意しており、1階は手すりやIHクッキングヒーターが設置され、テラスのあるシニア世代向けの住戸（1LDK）、2階は玄関や浴室にゆとりをもたせた子育て世帯向けの住戸（2LDK、3LDK）となっています。屋外には、入居者様同士が集えるスペースを多く設けています。



ウェルカムテラスのあるシニア向け住戸

「エンテラス」のイメージ

■ テラス・コミュニティ

● つながりを生むたくさんのきっかけ



たまり場のある小みち

- ① 道端ベンチ
ちょっと腰掛られる、植込の縁を利用したベンチ。
- ② 家庭菜園
野菜の栽培を楽しめる他、交換したり一緒に食したりと、コミュニケーションが広がります。

家と外の接点

- ③ ウェルカムテラス・大きなバルコニー
日向ぼっこしながら読書したり、一緒にお茶を飲んだり、緩やかなつながりをうむ縁側です。

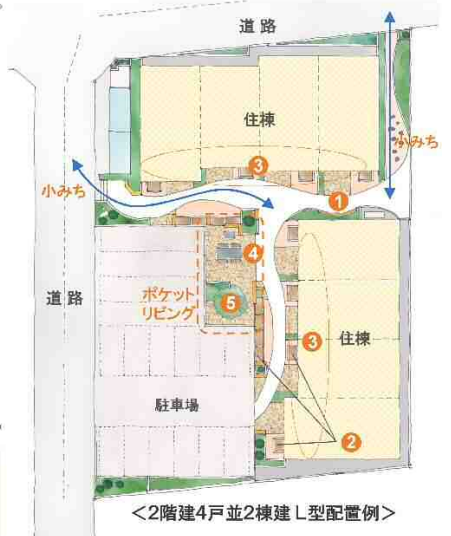
みんなが集うポケットリビング

- ④ ガーデン・テーブル/炉
青空の下、みんなで食事できる大きなテーブル。収穫した野菜でBBQが楽しめる炉。
- ⑤ シンボルツリー
季節の移ろいに合わせ変わる木は愛着を生みます。

スタートアップイベント

最初のコミュニケーションのきっかけとして、イベントの開催も予定されています。

● 暮らしの気配を感じあえる屋外を包み込む配棟



<2階建4戸並2棟建L型配置例>

■ 「エンテラス」限定の「和守」制度

江戸時代には、町人たちの生活に関わる世話人役として家守（やもり）が居ました。エンテラスでは、入居者様同士のコミュニティがより和やかになるよう、現代の家守にあたる「和守（わもり）」制度を設けています。和守になっていただいた方々には、オーナー様や入居者様とのコミュニケーションのある建物管理を楽しんでいただくとともに、建物の管理を通じて、入居者様同士のコミュニケーションの橋渡し役も担っていただく制度です。



以上

<この件に関するお問い合わせ> 大東建託株式会社・経営企画室 和賀・山口 TEL (03)6718-9174

